

# 発達障がいを 個性として 生きていく

親子  
ダブル講座

～親や教師、その子の成長を願っている人が  
子どもの成長や前進を止めないために～

近年注目を浴びる、発達障がい。子どもからしたら生きにくさ、親からしたら育てにくさを感じる事もあるかもしれません。ただ、それだけではない、一緒に生きる楽しさもあります。実際に看護師をしながら4人の発達障がいのお子さんを育てている、池田光余さん(家族サポートLive With理事)をお呼びし、ご自身の体験やコミュニケーションのコツをお伝えします。お子さん向けには、演出家で社会福祉士。特別支援学級の子も達への演劇指導などもしている、神山一郎さんによる、演劇の特別講座！親と子、一緒に参加し、それぞれスペシャルな時間を過ごす事ができます！お子さんのいらっしゃる方の参加も大歓迎です！



申し込みについては  
裏面を見てね！

# 3/20

月祝

14:00～16:30 (開場 13:45)

シビックセンター区民会議室  
3階C/和室 (文京区春日1-16-21)

- 参加費：ペイフォワード(恩送り)
- 定員：大人・子ども 30人(先着順)
- 主催：NPO法人 [sopa.jp](http://sopa.jp)

※参加対象：どなたでもご参加いただけます。  
 ・ご自身もしくは、ご家族が発達障がいだという診断をされた  
 ・ご自身もしくはご家族が発達障がいかもしれないと不安を持っている  
 ・発達障がいの人へどのように接したら良いかわからない

※この講座は、今回の講師をしてくれる方、新宿三井ビルに働く人やトヨタ財団の人達の本や貢献が原資となっていますが継続的に行っていくために、ペイフォワードの考えを導入します。次の方の参加費を(いくらでも良いので)お支払いして頂くという形をお願いします。金額に応じて、月に1度か2ヶ月に1度か季節に1度かは分からないのですが、継続的にやっているとと思っています。

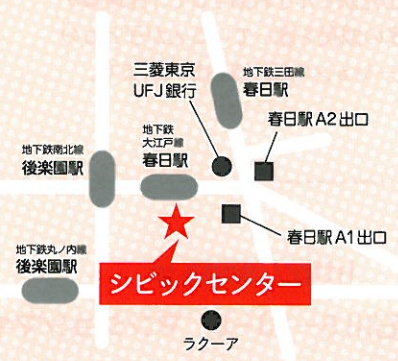
●大人担当 池田 光余 いけだ みつよ



●子ども担当 神山 一郎 かみやま いちろう



●主催 板谷 友香里 いたや ゆかり



●大人担当

## 池田 光余 いけだ・みつよ

和歌山県立医科大学附属病院 紀北  
分院勤務 看護師 コーチ・心理カ  
ウンセラー。

4人の発達障がいをもつ息子たちの  
子育て中、届かないコミュニケーション  
に苦悩していた時にCTN(コミュニ  
ケーショントレーニングネットワーク)に出会う。

コーチングにより、障がいをもちながらも楽しくイキイキと自分  
で未来を切り開いていく息子たちを通して、支援する側である  
親や医療者が実は子どもや患者さんの前進を止めていることが  
多いことを実感する。

「障がいや病気をもちながら、自分が自分のままで安心して生き  
ていける世界をつくる」ことを意図して、コーチング(コミュニ  
ケーションのセンスとスキル)を医療(看護)や子育て(発達障がい  
児)の分野へ提供している。

現在は、看護学校や病院のコーチング研修の講師、発達障がい  
児のサポートセンターや親の会のアドバイザーなどで活躍中。

NPO団体 発達障がい児、家族サポートセンター「Live with ~  
ともに生きる~」



●子ども担当

## 神山 一郎 かみやま・いちろう

俳優・演出家・演劇講師、社会福祉士。  
玉川大学文学部芸術学科芸術表現  
コース演劇分野卒。NYでの演技短期  
ワークショップの後、23歳より演技指  
導を始める。

文化庁主催の演劇ワークショップイベ  
ント講師、目黒区主催演劇ワークショップ講師、  
日本私立小学校教員研修会講師などを歴任。  
主宰団体「演技集団オムニプレゼンス」にて、数多くの戯曲作品  
の演出を手掛ける。

社会福祉士の有資格者であり、全国の小中学校を巡りながら、演  
劇ワークショップを開催している。障がい者との舞台公演や高  
齢者向けワークショップの開催なども行う。

日本新劇俳優協会会員。

NPO法人「アートインライフ」理事。

日本こども文化学会会員。



~主催 NPO 法人 sopa.jp より~

## 「家族だけじゃない、家族のような温かいつながりある社会」を。

今まで、sopa.jp では、子どもの居場所に関わる事業を行う中で、子どもの貧困、  
発達障がい、不登校など、様々な事柄を垣間見てきました。

こうした環境で育ってきた子ども達の多くは、自殺せずに、生き切って、今はどこ  
かで大人として暮らしています。

また、こう言った環境の当事者ではなくとも、生きにくさを感じている人は多いの  
が現状です。

現在では、少子化が進行し、親や祖父母を始め、様々な親族が子どもの面倒を見  
て、「良かれ」と思っての過干渉が自発性を損なってしまうなど、子どもの生きにくさ  
の一つの原因になってしまっているとも捉えています。

一方で、核家族化が進み、地域や学校、職場のコミュニティも弱体化している中、  
孤独を感じている子どもも大人も増えています。

sopa.jp では、生まれながらの環境はどうであれ、「信頼に裏打ちされ、自分を信  
じ、人との良好な人間関係を築くこと。」が出来るための観点や講座を通して、「家  
族だけじゃない、家族のような温かいつながりある社会」を作っていきます。

今回は、家族サポートLive With 理事の池田光余さんをお招きして、「発達障が  
いを個性として生きていく」~親と教師、その子の成長を願っている人が子どもの  
成長を止めないために~と題して、コミュニケーションの観点をお伝えします。



●主催

## 板谷 友香里 いたや・ゆかり

NPO法人sopa.jp 理事/事務局長 コーチ。

大人になってから発達障がいであるADHDの診断を受ける。  
自分が運良く、大人になれたのは、サードプレイスの価値であ  
ることに気づき、社会問題を解決し、自分次第の人生を生きる  
人を増やすべく、sopa.jp(ソーシャルパートナーシップ)の立  
ち上げや活動を開始する。当初は子どもの居場所による活動  
がメインであったが、親友の産後うつによる死を契機に、信頼  
に裏打ちされ、自分を信じ、人との良好な人間関係を築くため  
の活動全般へと取り組む範囲を拡大させている。

QRコードから簡単申し込み!



●お問い合わせ・お申し込み -----

NPO 法人 **sopa.jp** <http://sopa.jp>

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-13-6 マンションマキ 204

☎ **070-5464-3070** ✉ **info@sopa.jp**